

**YAGI**

取扱説明書

# 簡易共同受信用CS・BS・U・Vブースタ

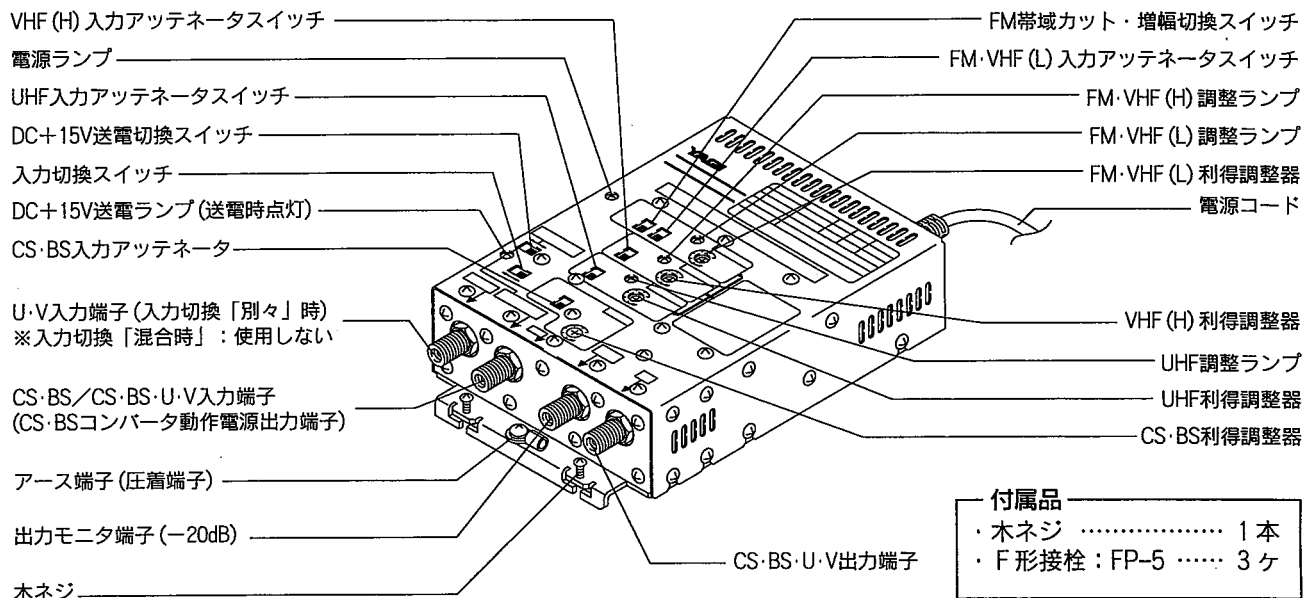
## EZSWP33(屋内専用)

保証書付  
(裏表紙の下側が保証書になっています。)

お買いあげいただき、ありがとうございました。

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」と「保証書」そして別紙の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

### ◆外観・各部の名称



### ◆特長

- BS・CS2610MHz 対応  
BSデジタル放送・110度CSデジタル放送の両偏波受信システムに対応するCS2610MHz広帯域ブースタです。
- かんたん調整(適正出力お知らせ機能)  
過入力による画像の乱れをお知らせする調整ランプをVHF L、VHF H、UHF帯域に搭載しており、レベル調整を容易に行うことができます。(CS・BS帯域に適正出力お知らせ機能はありません)
- 広範囲な調整機能  
各帯域に利得調整器、入力アッテネータが付いていますので、さまざまな電波状態に対応した調整ができます。
- FMカットスイッチ付き  
FM放送の影響でテレビ画面に縞模様が出る場合、FM放送をカットすることができます。
- CS・BS・U・V入力切換スイッチ付き  
スイッチの切換えによりCS・BS・U・V混合入力、CS・BS/U別々入力のどちらでも使用できます。

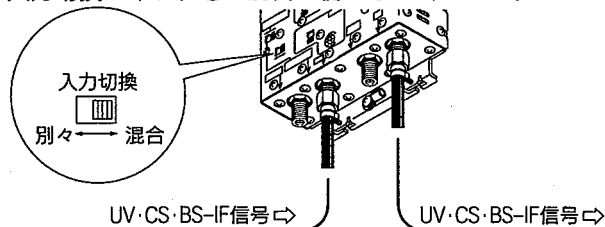
### ◆使用上のご注意

- ブースタの設置工事には技術と経験が必要ですので、専門業者に依頼してください。
- スイッチや利得調整器などは無理な力が加わると壊れることがあります。操作する場合は慎重にお取り扱いください。
- 設置・施工時の出力信号は定格出力レベルを超えないようにしてください。
- 本器は屋内設置専用です。雨水のかかる場所でご使用の場合は防水ケースに入れた上で設置してください。内部に水が入った場合、ショートして火災・感電の原因になります。
- 通気性の悪い収容箱(分電箱等)へ収容してご使用になる場合は、放熱を良くしていただくため、1台までの収容としてください。
- アース接続は必ず行ってください。ショートや落雷により火災・感電の原因になります。
- 送電切換スイッチを操作する場合は、慎重にお取り扱いください。誤ると他の機器の焼損につながります。
- 同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたりしないでください。火災・感電の原因になります。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 一般の人が容易に触れる所には設置しないでください。感電・ケガの原因となります。
- 各チャンネルの入力レベル差が大きい場合、調整ランプが正しく動作しないことがあります。調整終了後、テレビ画面で最適な画像になっているか確認してください。

## ◆ケーブルの接続方法

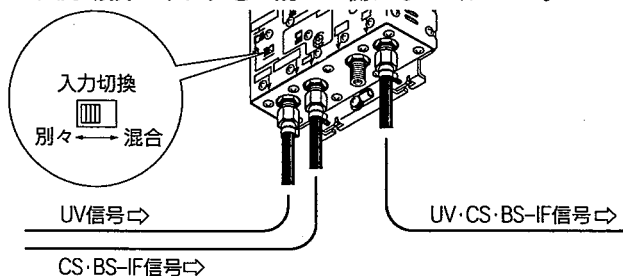
### ●UVとCS・BSが混合入力の場合

入力切換スイッチを“混合”側にしてください。



### ●UVとCS・BSが別々入力の場合

入力切換スイッチを“別々”側にしてください。



### ⚠警告

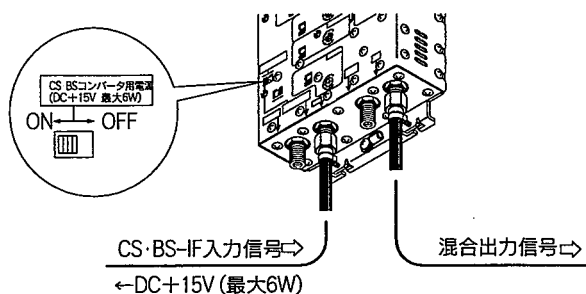
- アース接続は必ず行ってください。火災・感電の原因になります。



### ⚠注意

- F形接栓は2~3N・m(約20~30kgf・cm)のトルクで締め付けてください。

## ◆CS・BSコンバータへの送電方法



- CS・BS-IF信号の入力端子から、CS・BSコンバータへDC+15V(最大6W)を送電できます。

※他の端子からは送電できません。

- 接続を確認し、入力側DC+15V送電・CS・BSコンバータ用電源スイッチを“ON”側にしてください。送電ランプが点灯します。※本器のDC+15V送電機能は、CS・BSコンバータ用です。他のブースタなどを動作させることはできません。

### ⚠注意

- CS・BSコンバータへの送電は、ケーブルの接続と途中に挿入する機器が電流通過形かどうかを十分に確認してから行ってください。火災・機器の焼損の原因になります。
- CS・BSコンバータへ送電しないときは、必ず入力側DC+15V送電・CS・BSコンバータ用電源スイッチを“OFF”側にしてください。火災・機器の焼損の原因になります。



## ◆各部の説明・調整方法

### FM・VHF(L)、VHF(H)、UHF

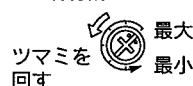
- 調整ランプが点灯している場合(テレビ画面にビート縞が発生します)



ビート縞

- ・調整ランプが点灯している帯域の利得調整ツマミを最小方向に回し、調整ランプが消える位置で止めてください。
- ・FM・VHF Lの調整ランプが点灯している時、FM放送を受信しない場合はFMカットスイッチを「カット」側にしてください。ランプが消えない場合は利得調整ツマミを最小方向に回し、調整ランプが消える位置で止めてください。

利得調整ツマミ



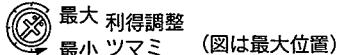
- ・利得調整ツマミを最小位置にしても調整ランプが点灯している時は利得調整ツマミを最大位置にもどし、入力アッテネータスイッチを「-10dB」側に戻します。再度利得調整ツマミを最小方向に回し、調整ランプが消える位置で止めてください。

- 調整ランプが消灯している場合



適正

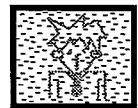
- ・利得調整ツマミが最大位置、入力アッテネータが「0dB」側にあることを確認してください。



※適正レベルの場合、調整ランプは点灯しません。

### ⚠注意

調整ランプが消えた状態で利得調整ツマミを最小方向に回すと利得不足によるスノーノイズが発生する恐れがあります。



スノーノイズ

各チャンネルの入力レベル差が大きい場合、調整ランプが正しく表示しないことがあります。調整終了後、テレビ画面で最適な画像になっているか確認してください。

## CS・BS

- CS・BSアンテナブースタ間の損失が多い場合など、ブースタへの入力レベルが低い場合は、入力アッテネータスイッチを「0dB」側にし、利得調整器にて出力レベルを調整してください。※CS・BS帯域には、調整ランプはありません。

### ・出力モニタ端子によるレベル確認

- より正確に出力レベルの設定を行う場合は、出力モニタ端子でレベルを確認しながら出力レベルを調整してください。出力モニタレベルは-20dBです。測定値に20dBを加えた値が出力レベルとなります。各周波数帯域の出力端子レベルは下記の値以下に設定してください。

周波数帯域	FM・VHF(L)	VHF(H)	UHF	CS・BS-IF
出力端子レベル(dB $\mu$ )	105(2波)	105(5波)	111(2波)、102(※)	103(24波)、100(36波)

※：アナログ7波+デジタル9波(デジタル-10dB運用)

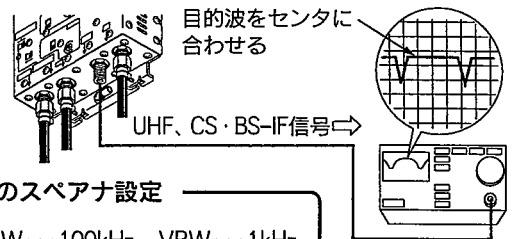
●こんな症状の場合は (VHF・UHF)

症 状	原 因	対 策
テレビ画面に何も映らない	誤接続	各アンテナからの入力ケーブル、およびUV入力切換スイッチの位置を確認してください。
画面にスノーノイズが出る	アンテナからの入力レベルが低い	入力アッテネータスイッチを「0dB」側に、利得調整器ツマミを最大位置まで回します。調整ランプが点灯した場合、ツマミを最小方向に回し、調整ランプの消える位置で止めます。画面に改善がない場合はアンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
利得最小でも調整ランプが消えない	強電界地域における過入力	本器の適正入力レベルを越えております。ブースタの前にアッテネータ（別売）を入れてください。
調整ランプが消えているのに画面にビート縞が出る	各チャンネルの入力レベル差が大きい	ビート縞の出ているチャンネルの利得調整ツマミを最小方向に回して良好な画面になるよう調整してください。画面に改善がない場合は、アンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
ワイパー現象（テレビ画面上で帯が移動する状態）やゴーストが出る	他の電波との混信 建物などによる電波の反射	本器では混信による障害は改善できません。 他の電波を避けるようアンテナの向き・高さ・位置を調整してください。

◆デジタル放送波の出力レベル確認方法（スペクトラムアナライザ）

- ①スペクトラムアナライザは、SPAN(表示周波数)、RBW(分解能帯域幅)、VBW(映像フィルタ)を下記の値に設定します。
- ②最大値に補正值を加えた値が出力レベルになります。

**出力レベル** = スペクトラムアナライザの最大値 + 補正值



デジタル衛星放送波のスペアナ設定

SPAN・・・50MHz、RBW・・・1MHz、VBW・・・300Hz

CSデジタル補正值：15.0dB

BSデジタル補正值：16.3dB

地上デジタル放送のスペアナ設定

SPAN・・・10MHz、RBW・・・100kHz、VBW・・・1kHz

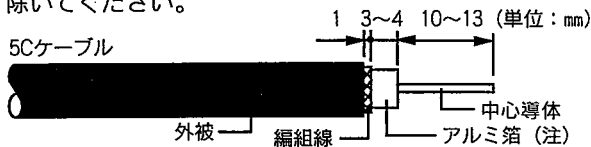
地上デジタル補正值：19.2dB

◆ケーブルの加工とF形接栓の取り付け方法

- ケーブルはS5CFBなど、衛星放送受信用低損失同軸ケーブルをご使用ください。
- F形接栓の取り付けは、接触不良やショートを防ぐため、ていねいに行ってください。
- 付属のF形接栓（FP-5）は、5Cケーブル用です。

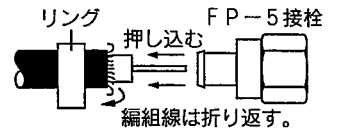
①ケーブルを図のように加工してください。

※中心導体の付着物は、接触不良をさけるため、必ず取り除いてください。

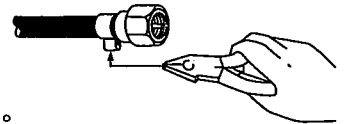


注：図のアルミ箔部分は、同軸ケーブルの種類によってはアルミ箔がなく、その内側の絶縁樹脂となるものもあります。

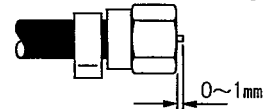
- ②ケーブルにリングを通し、FP-5接栓をアルミ箔と編組線の間に押し込んでください。編組線はあらかじめカッターナイフの先端などで折り返しておいてください。



- ③リングをペンチで圧着し、FP-5接栓がケーブルから抜けられないようにしてください。



- ④中心導体をニッパーなどで図の寸法に切断して完成です。



⚠警告

- 同軸ケーブルには電流が流れることがあります。中心導体と編組線がショートしないようにしてください。火災・感電の原因になります。



<無料修理規定>

- お買い上げの日から1年間、取扱説明書、製品自体に表示した注意書きなどに従った正常な使用状態において、万一故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または直接弊社にお申しつけください。
- ご転居やご贈答品などで、本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、直接弊社にご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には、原則として有料とさせていただきます。
  - (イ) 施工・使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷。
  - (ニ) 車両および船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書の、お買い上げ年月日、お客様、販売店の各欄に記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

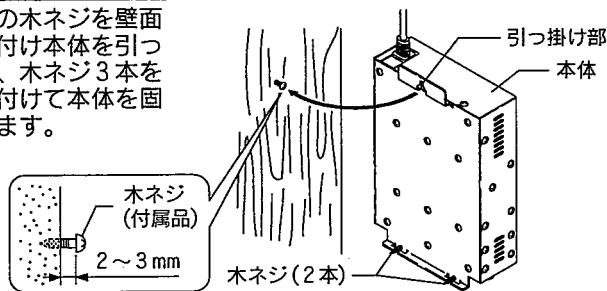
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合には、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。

※ This warranty is valid only in Japan.

故障内容：機器改良にも役立ちますので必ずご記入ください。

## ◆ケースの取付方法

付属の木ネジを壁面に取付け本体を引っ掛け、木ネジ3本を締め付けて本体を固定します。



- 本器は屋内専用です。雨水のかかる場所には防水ケースに入れた上で設置してください。
- 本器は、図のように必ず縦方向に取付けてください。

### ⚠ 警告

- 機器の質量（重量）に耐えられる場所に設置してください。落下によりケガの原因になることがあります。



### ⚠ 注意

- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気のあたる場所には設置しないでください。火災・感電の原因になることがあります。
- 電源プラグは共同受信の配線工事がすべて終了してからACコンセントへ接続してください。感電の原因になることがあります。



## ◆収容箱への設置

- 本器を防水ケースなど通気性の悪い収容箱に収容する場合、400(縦)×400(横)×120(奥行)mm以上の容積の箱を使用してください。小型の収容箱を使用すると本体の発熱で故障する恐れがあります。
- 収容箱に本器以外の機器を一緒に収容する場合は、発熱しないものを収容してください。収容箱の内部の温度が高くなると、本体が故障する恐れがあります。

## ◆標準仕様

項目	仕様			
周波数帯域 (MHz)	FM・VHF (L) (FM・ch1~3) 76~108	VHF (H) (ch4~12) 170~222	UHF (ch13~62) 470~770	CS・BS-IF 1000~2610
標準利得 (dB)	25~30	28~33	27~35	27~35
定格出力レベル (dBμ)	105 (2波)	105 (5波)	111 (2波) 102 (※)	103 (24波) 100 (36波)
利得調整範囲 (dB)	0~-10	0~-10	0~-10	0~-10
入力アッテネータ (dB)	0、-10	0、-10	0、-10	0、-10
雑音指数 (dB)	5以下	5以下	6以下	6以下 (1000~2150MHz) 8以下 (2150~2610MHz)
入出力インピーダンス (Ω)	75			
V.S.W.R.	3以下	3以下	3以下	2.5以下
モニタ (dB)	-20			
使用温度範囲 (°C)	-10~+40			
電源電圧 (V)	AC100 (50/60Hz)			
消費電力 (W)	6.5 (6W送電時・14)			
外形寸法 (mm)	182 (高さ) × 119 (幅) × 49 (奥行)			
質量 (kg)	670			

※：アナログ7波+デジタル9波（デジタル-10dB運用）

- この製品は今後改良・性能向上のため、形状及び特性を変更することがあります。

# 八木アンテナ株式会社

〒337-8502 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1406

<http://www.yagi-antenna.co.jp>

■ 製品に関するお問い合わせ ■

**048-687-8198**

ご利用時間(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

9:00~12:00 13:00~17:00